

# 平成22年度 局予算要求の概要



## 1 予算要求総額(一般会計)

### H22予算要求状況(H21予算比)

歳入	H21予算	H22要求	増減
市税、交付税など	4,480	4,392	▲ 88
国・道支出金	1,501	1,723	222
市債	281	298	17
その他	1,618	1,503	▲ 115
計	7,880	7,916	36

歳出	H21予算	H22要求	増減
人件費	1,130	1,112	▲ 18
扶助費	1,823	2,034	211
公債費	983	973	▲ 10
他会計繰出金	935	938	3
その他	3,009	3,179	170
計	7,880	8,236	356

(億円)

### 差引収支不足額(要求段階)

▲ 320

札幌市を取り巻く社会経済情勢は厳しい状況にあり、法人市民税を中心とした市税収入の減少や生活保護費などの扶助費の増加により、いまの各局からの要求のままでは、320億円の収支不足となることが見込まれます。

ひと冬の除雪にかかる費用が約150億円ですから、320億円というのはおよそ2年分の除雪費用です。  
これから、各局の要求内容を精査して予算編成を行います。これまで以上の徹底的な無駄の見直しと収入の確保に向けた対策を行うことで、予算案までに収支不足を解消しなくてはなりません！



## 2 22年度予算編成のポイント

### 事業の見直し



4つの  
見直しの  
視点

- ・事業成果の検証による見直し
- ・社会構造の変化に合わせた見直し
- ・行政が担う範囲の見直し
- ・自治基本条例の趣旨を踏まえ、地域と連携することによる見直し

19年度に策定した、簡素で効率的な市役所を目指す『行財政改革プラン』の取組みを着実に進めていくとともに、昨今の経済情勢の悪化による厳しい財政状況へ対応するため、「4つの見直しの視点」で事業を見直していきます。

### 新たなニーズへの対応



「市民の力みなぎる、文化と誇りあふれる街」の実現のため、19年度に策定した『第二次新まちづくり計画』の目標達成に向けた取組を継続します。さらに厳しい状況に置かれながらも、新たに対応すべきと判断した5つの分野への取組を「市長政策事業群」と位置づけて、重点的に予算を配分します。

具体的な事業は次のページをご覧ください。

### 3 市長政策事業群要求事業

#### 子育て支援・教育対策

- ・ 保育所緊急整備事業
- ・ 児童会館児童クラブ等における  
障がいのある子どもの対応充実
- ・ 児童養護施設耐震補強事業
- ・ 児童相談所の将来構想策定事業
- ・ 子ども読書チャレンジプロジェクト



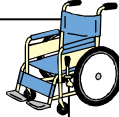
#### 環境対策

- ・ 木質バイオ燃料を活用した環境産業推進事業
- ・ 札幌エネルギーecoプロジェクト補助拡大
- ・ 環境負荷低減へ向けた市有建築物整備事業
- ・ 学校施設太陽光パネル整備事業
- ・ 都心のまちかど美緑（みりょく）アップ事業



#### 高齢者・障がい者福祉

- ・ 広域型特別養護老人ホーム新築費補助
- ・ パーソナル・アシスタンス事業
- ・ 障がい者講師等派遣事業
- ・ 障がい者地域活動支援センター  
（就労者支援型）の拡充
- ・ 知的障がい者等を対象とした  
ホームヘルパー養成モデル事業
- ・ 元気ショップの拡充
- ・ 障がい福祉施設耐震化等整備事業
- ・ 誰もが歩きやすい  
歩行空間ネットワーク創出事業



#### 経済対策

- ・ さっぽろコンテンツファンドの組成
- ・ さっぽろ元気企業販売力強化事業
- ・ 雇用ミスマッチ解消プログラム
- ・ 民間建築物耐震化促進事業（特定建築物）

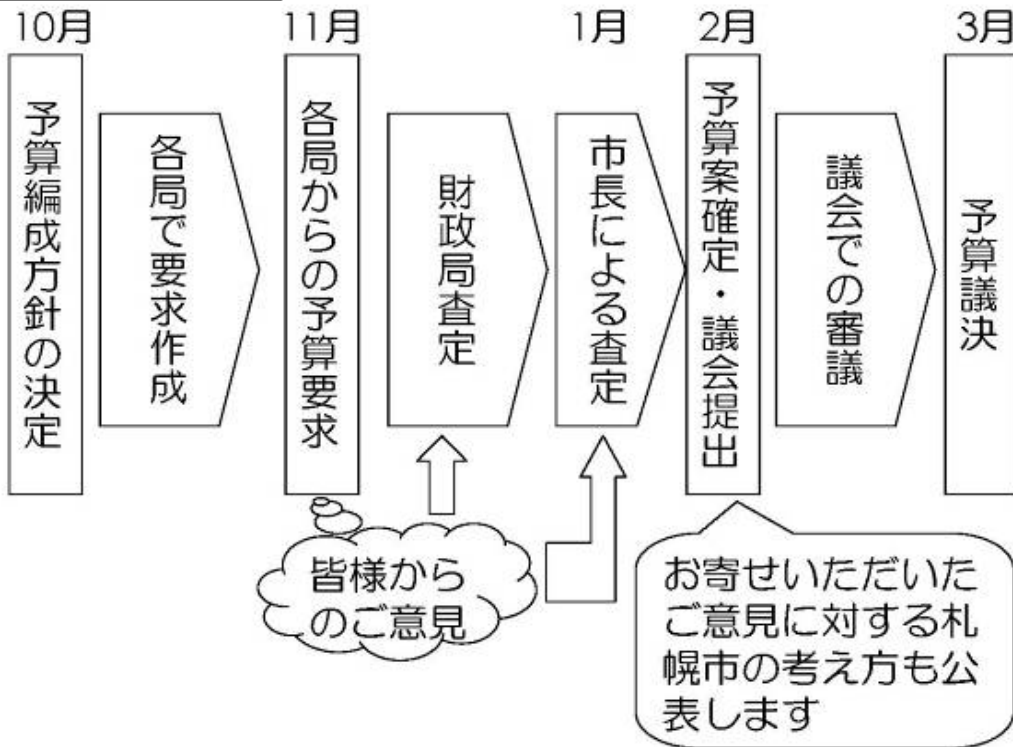


#### シティプロモート

- ・ シティプロモート戦略策定と総合的推進
- ・ Webによるコミュニケーションの充実
- ・ 海外に向けた戦略的な発信と  
ネットワーク形成
- ・ 首都圏での情報接触度の向上
- ・ 都市資源、ブランドの創出や魅力向上



### 4 予算編成の流れ



皆様からいただいたご意見は、これから各局の要求を精査し、よりよい予算案を策定するための参考にさせていただきます。積極的にご意見をいただけますよう、どうぞよろしくお願いいたします。